

2024年1月18日

(一社)日本コミュニティーガス協会

「令和6年能登半島地震」について（1月18日時点）

1. 地震の概要

1月1日16時10分に最大震度7を観測した石川県能登地方の地震の概要は下記のとおり。（1月1日24時までには本地震の発生前後に震度5強を観測する地震が3回、5弱を観測する地震が5回発生した。）

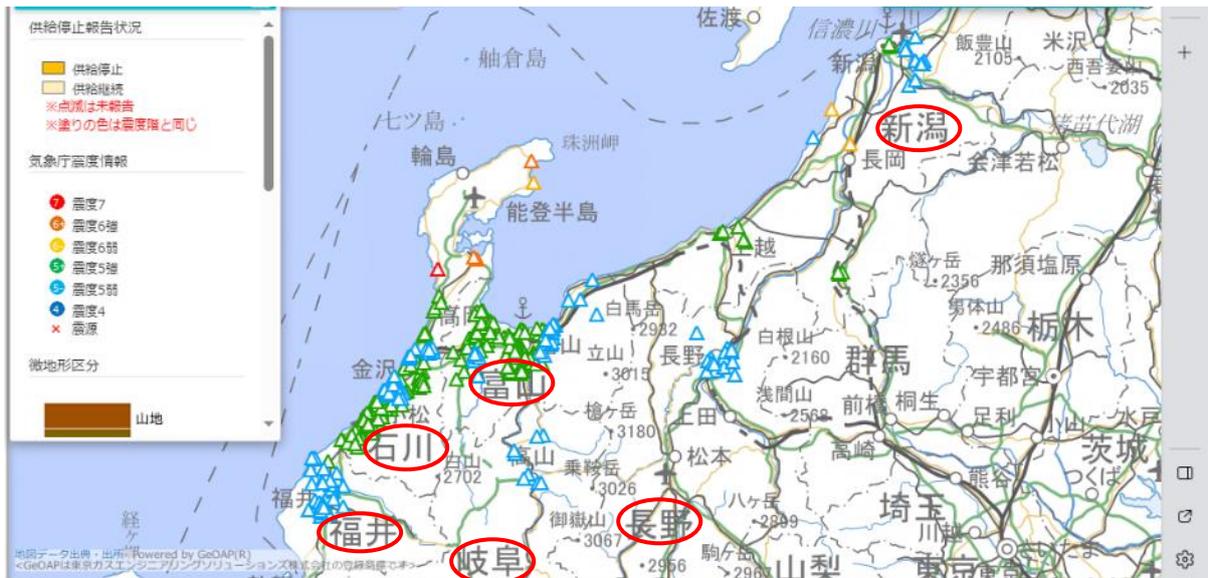
項目	内容
発生日時	1月1日 16時10分
震源	石川県能登地方
最大震度階級	震度7
地震の規模（マグニチュード）	M7.6
震源の深さ	16km

2. 震度5弱以上に存するコミュニティーガス団地

震度5弱以上を観測した団地は石川県を含め6県にわたり343団地であった。石川県では、登録団地数123団地のうち116団地が該当した。

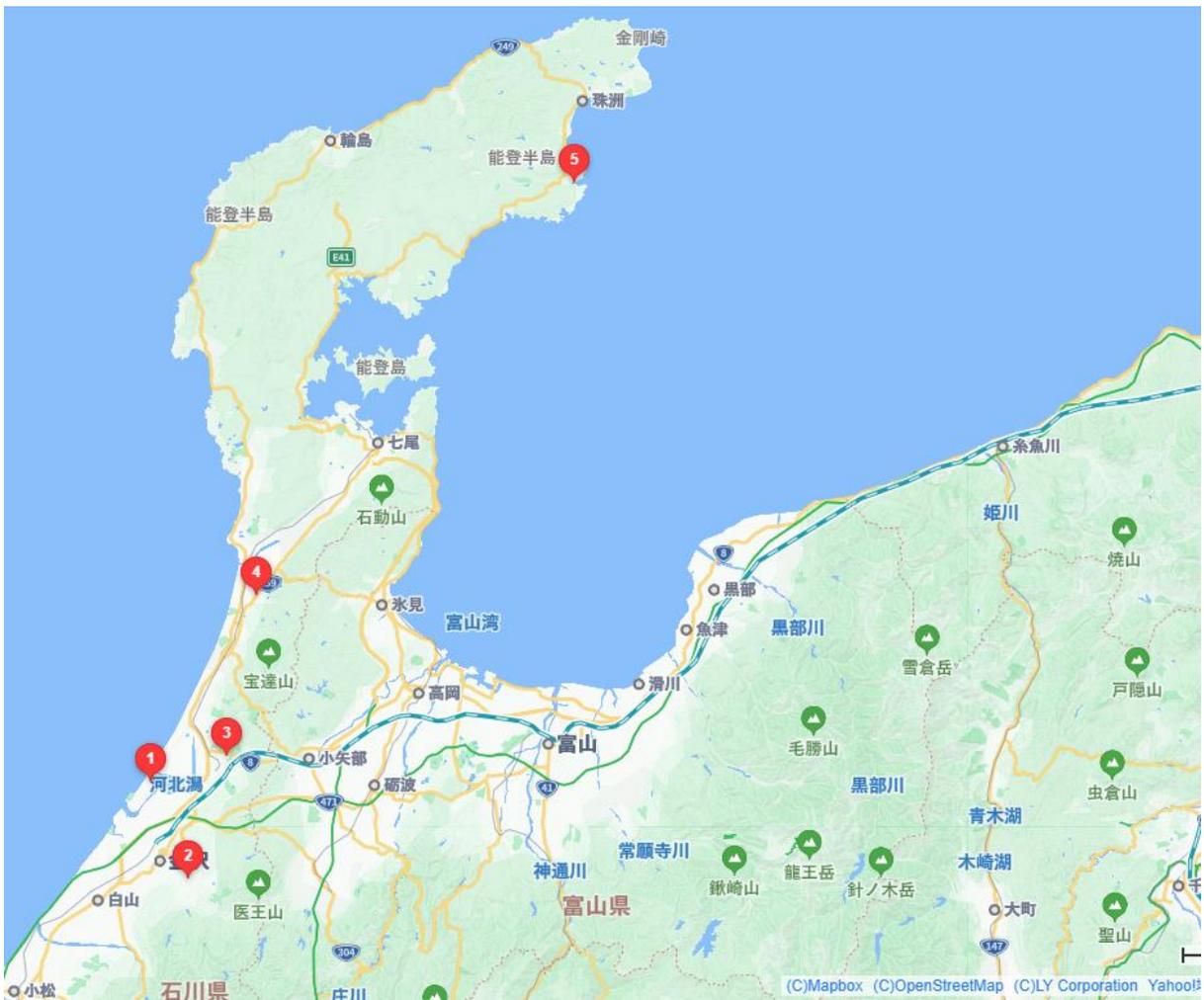
震度階級	所在	事業者数 ^(※)	団地数	登録地点数
震度7	石川県（志賀町）	1	1	80
震度6強	石川県（七尾市、珠洲市）	3	3	249
震度6弱	石川県（能登町）	1	1	81
	新潟県（長岡市）	2	2	514
震度5強	石川県	28	79	17,011
	富山県	11	113	20,698
	新潟県	5	10	3,194
	福井県	1	1	80
震度5弱	石川県	10	32	16,726
	富山県	7	27	3,170
	新潟県	5	12	2,926
	長野県	11	22	3,968
	岐阜県	4	8	859
	福井県	11	32	8,493
計			343	78,049

(※) 事業者数は重複がある。重複なしの事業者数は73である。



3. コミュニティガス団地の被害状況

震度5弱以上を観測した343団地のうち石川県内の5団地に地震動、液状化または土砂崩れによるガス漏れ等の被害が生じ、4団地については導管の復旧や仮設による臨時供給を実施する対応をとった。残り1団地については現在も復旧対応中である。



(1) 鶴ヶ丘団地（石川県河北郡内灘町 調定数 3191）、震度 5 弱

地震によりガス漏れが発生し地区バルブの閉止等を行い、72 戸の供給支障に至った。1 月 3 日以降順次、仮設供給を実施し、4 日から 72 戸全てに供給開始した。本復旧については、陥没等道路状況が悪く町との協議が必要である。

(2) 田上第二団地（石川県金沢市田上新町 調定数 42）、震度 5 弱

導管下の土が崩れ導管（ポリエチレン管）が露出し、継ぎ手部よりガス漏洩が発生したため、消防の要請により特定製造所においてガス供給を停止し、42 戸の供給支障となった。

1 月 3 日から、土砂崩れがあり立ち入れない箇所（6 戸）を除き 36 戸に仮設供給を開始し、6 日からは、仮設供給 36 戸について導管供給を再開した。

立ち入れない 6 戸のうち 3 戸については立入禁止が解除され避難から戻ってきており、仮設供給を開始した。残りの 3 戸は建物が崩落した。

(3) 津幡団地（石川県河北郡津幡町 調定数 245）、震度 5 弱

地震によりがけ崩れが発生し本支管破損によってガスが漏洩し、何等かの原因により引火したが 19 時 15 分頃に鎮火した。また、消防の要請により特定製造所で供給を停止した。

1 月 3 日、本団地は特定製造所が 2 つあり、1 つは復旧の目途がたち導管供給を再開した（161 戸）。もう 1 つの特定製造所の供給箇所については仮設供給を実施した（84 戸）。

1 月 11 日、導管検査を実施し異常なしが確認できたため、現在仮設供給の 84 戸のうち 77 戸についても導管供給を再開した。残り 7 戸の導管供給についてはがけ崩れ等道路の状況が改善されてからとなる。

(4) ビレッジハウス志雄（石川県羽咋郡宝達志水町 調定数 24）、震度 5 強

地震発生後は特定製造所の感震遮断装置の作動を確認し、団地へのガス供給が停止していることを把握したが、その後、現地には立入禁止となった。1 月 3 日にガス漏れ箇所を特定し 4 日に修繕が完了、5 日から供給を再開した。

(5) ビレッジハウス内浦（石川県鳳珠郡能登町 調定数 40）、震度 6 弱

地震発生後は特定製造所の感震遮断装置の作動を確認し、団地へのガス供給が停止していることを把握したが、その後、現地には立入禁止となった。また、道路状況が悪く 1 月 4 日まで現地へ立ち入ることが困難であった。

5 日、点検したところガス漏れが生じていると思われるが、現在においても特定には至っていない。また、現地は地盤が液状化等により状態が悪く復旧作業が一時停止している。

（避難していない 10 戸についてはカセットコンロを配布した。）

(※) 震度 7 を観測した 1 団地及び震度 6 強を観測した 3 団地については、ガス工作物に特段被害は生じなかった。

4. LP ガスの調達について

1月9日12時時点における経済産業省HP情報では、LPガスの輸入基地である七尾基地についても今回の地震で被害を受け設備支障のため出荷停止となるが、代替基地にて振替出荷可能となった。

出荷設備については一部復旧が完了し、1月15日より限定的な出荷（在庫分）を開始。引き続き代替基地からの振替出荷可能。

上記団地に被害のあった各事業者については、元売りの金沢基地や新潟、四日市からローリーで各社の充てん所へ運び、ボンベに充てんし各団地へ配送している。従って、LPガスは軒先在庫が残っていること、また、充てん所の在庫もあることから、現状ではLPガスの不足による供給支障は発生していない。

以上